

III 大 気 環 境

III 大気環境

1. 大気環境の現状

大府市では、吉田小学校、大府小学校(県測定)において大気環境を監視している。大気汚染は、工場・事業所等から排出されるばい煙や自動車等からの排出ガスが主な原因と考えられる。

項目別の環境基準達成状況を見ると、二酸化硫黄(SO₂)、浮遊粒子状物質(SPM)、二酸化窒素(NO₂)、ダイオキシン類については環境基準を達成しているが、光化学オキシダント(Ox)、微小粒子状物質(PM2.5)については環境基準を達成していない。(光化学オキシダントについては、測定開始以来、環境基準を達成していない。微小粒子状物質については、年間有効測定日 361 日の内1日超過が見られた。)

環境基準達成状況 (県測定地点)

	調査地点数	基準達成地点数	達成率	(参考) 令和5年度 達成率
二酸化硫黄 (SO ₂)	1	1	100.0%	100.0%
浮遊粒子状物質 (SPM)	1	1	100.0%	100.0%
二酸化窒素 (NO ₂)	1	1	100.0%	100.0%
光化学オキシダント(Ox)	1	0	0.0%	0.0%
ダイオキシン類	1	1	100.0%	100.0%
微小粒子状物質(PM2.5)	1	0	0.0%	100.0%

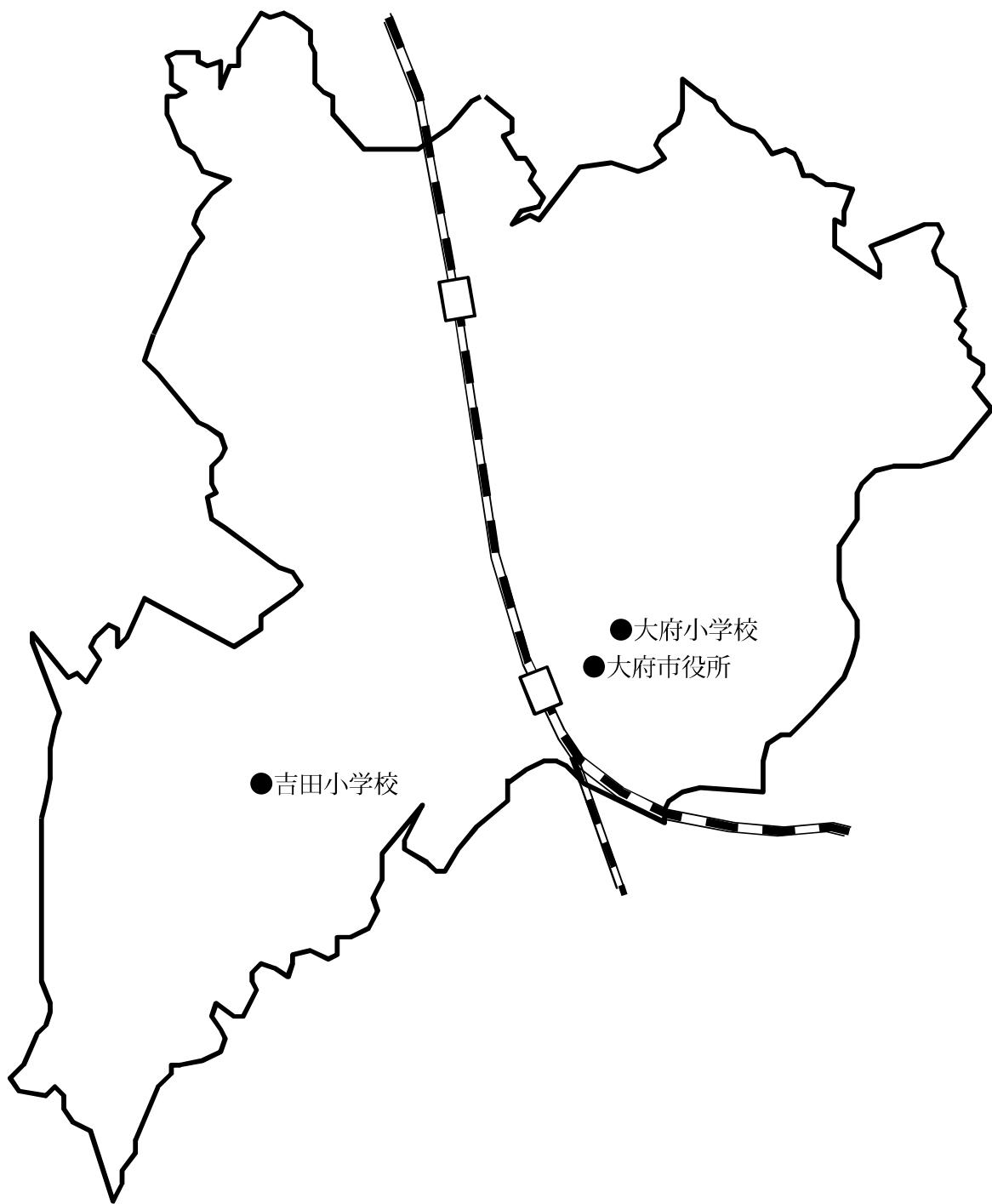
2. 大気環境測定方法

大府市では、デポジットゲージを吉田小学校に常設、ハイボリュームエアーサンプラーを大府市役所に測定期間中のみ設置している。

デポジットゲージ法では降下ばいじん量[1地点]を、ハイボリュームエアーサンプラーでは年 2 回ダイオキシン類[1地点]を測定している。

県測定局の大府小学校では、二酸化硫黄(SO₂)、浮遊粒子状物質(SPM)、二酸化窒素(NO₂)、光化学オキシダント(Ox)、微小粒子状物質(PM2.5)の測定を実施している。

大気環境測定地点



3. 二酸化硫黄(SO₂)

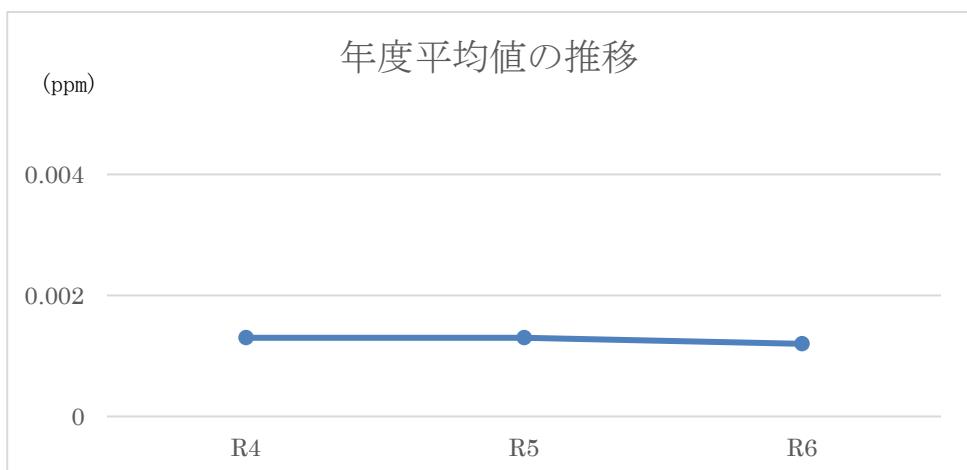
平成13年度以降は、環境基準を達成している。

年間測定結果

有効測定日数	測定時間	年度平均値	環境基準との比較				最1時高間値の	2日%平均値の	連続した日が2日以上を超えた日が0.04ppm以上の有無	環境基準による長期的評価による適否	
			その割合と1時間値が0.1ppmを越えた時間数と1時間値が0.04ppmを越えた時間数とその割合		日平均値とその割合が0.04ppmを越えた日数とその割合						
			(日)	(時間)	(ppm)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(ppm)	(ppm)
大府小学校	365	8,674	0.001	0	0.0	0	0.0	0.009	0.002	○	○

経年変化 (ppm)

		R4	R5	R6
大府小学校	年度平均値	0.001	0.001	0.001
	1時間値の最高値	0.021	0.013	0.009
	日平均値の2%除外値	0.002	0.002	0.002



4. 浮遊粒子状物質(SPM)

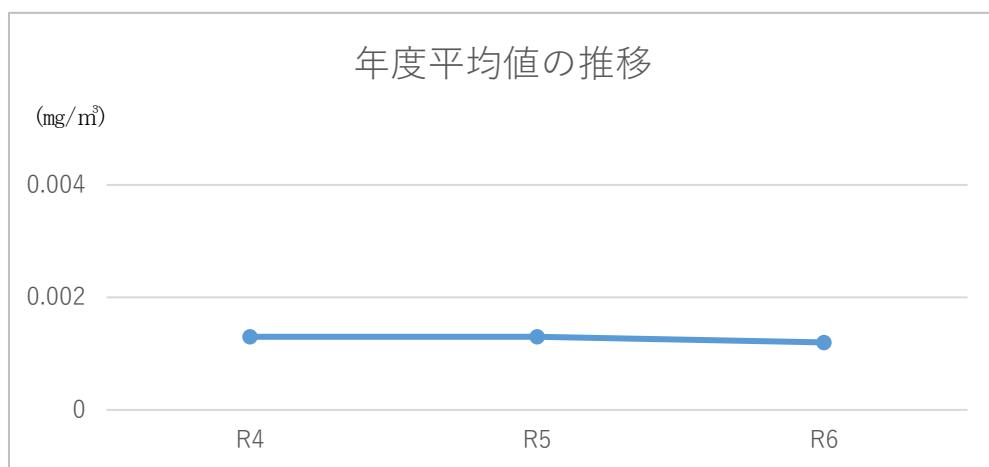
平成 24 年度以降、環境基準値を達成している。

年間測定結果

日 有 効 測 定 數 定	測 定 時 間	年 度 平 均 値	環境基準との比較				最 1 時 高 間 値	2 日 % 平 除 均 外 値	連 続 超 越 し た 日 の 1 日 平 均 値 が 0.10 mg/ m ³	環 境 基 準 の 長 期 的 評 価 に よ る 否 る	
			越 え た 時 間 と そ の 割 合		と そ の 日 平 均 値 が 0.10 mg/ m ³						
			(日)	(時間)	(mg/m ³)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(mg/m ³)	(mg/m ³)
大府小学校	334	8,042	0.012	0	0.0	0	0.0	0.116	0.029	○	○

経年変化

		R4	R5	R6
大府小学校	年度平均値	0.013	0.013	0.012
	日平均値の 2%除外値	0.026	0.029	0.029



5. 二酸化窒素(NO_2)

平均値は横ばい状態で安定しており、平成5年度から環境基準値を達成している。

年間測定結果

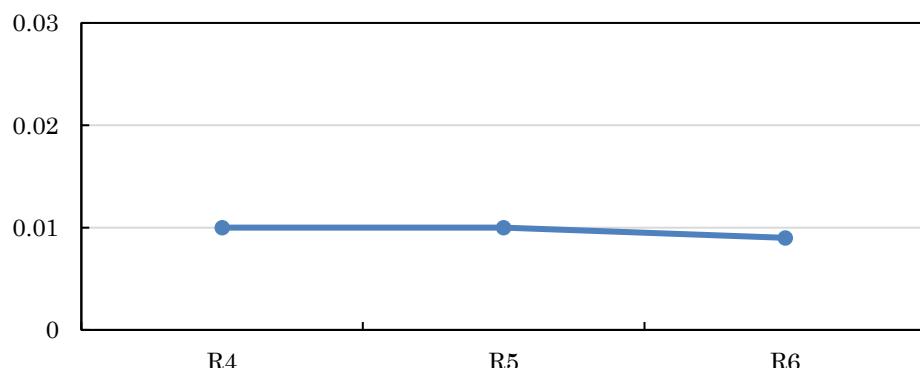
	有 効 測 定 日 数	測 定 時 間	年 度 平 均 値	環境基準との比較				1 時 間 値 の 最 高 値	日 平 均 値 の 9 8 % 値	環 境 基 準 の 適 否
				数 に 對 す る そ の 割 合		日 平 均 値	日 平 均 値			
				日 数 と 有 効 測 定 日 数 に 對 す る そ の 割 合	日 数 と 有 効 測 定 日 数 に 對 す る そ の 割 合	日 数 と 有 効 測 定 日 数 に 對 す る そ の 割 合	日 数 と 有 効 測 定 日 数 に 對 す る そ の 割 合			
(日)	(時間)	(ppm)	(日数)	(%)	(日数)	(%)	(日数)	(ppm)	(ppm)	適:○ 否:×
大府小学校	337	8,046	0.009	0	0.0	0	0.0	0.055	0.019	○

経年変化

		R4	R5	R6
大府小学校	年度平均値	0.010	0.010	0.009
	1時間値の 最高値	0.059	0.049	0.055
	日平均値の 98%値	0.025	0.024	0.019

(ppm)

年度平均値の推移



6. 光化学オキシダント(Ox)

環境基準値は、観測開始以来未達成である。令和4,6年度においては予報等の発令はなかった。令和5年度は予報が1回発令された。

年間測定結果（令和6年度）

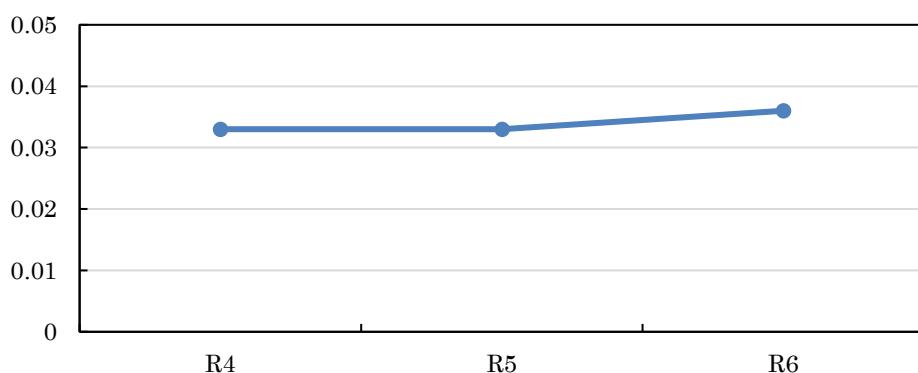
	有効測定日数	昼間測定時間	平日間の1時間値の平均	環境基準との比較		日数と時間数	昼間の1時間値が0.12ppmを超えた日数	の昼間の1時間値の最高値	1時間値の日最高値の年平均値	環境基準の適否
				0.06ppmと時間を越えた日数	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数					
	(日)	(時間)	(ppm)	(日)	(時間)	(日)	(時間)	(ppm)	(ppm)	適:○ 否:×
大府小学校	365	5441	0.036	96	423	1	1	0.126	0.050	×

経年変化

		R4	R5	R6
大府小学校	年度平均値	0.033	0.033	0.036
	0.06ppmを超えた日数	74	76	96
	0.06ppmを超えた時間数	373	340	423

(ppm)

年度平均値の推移



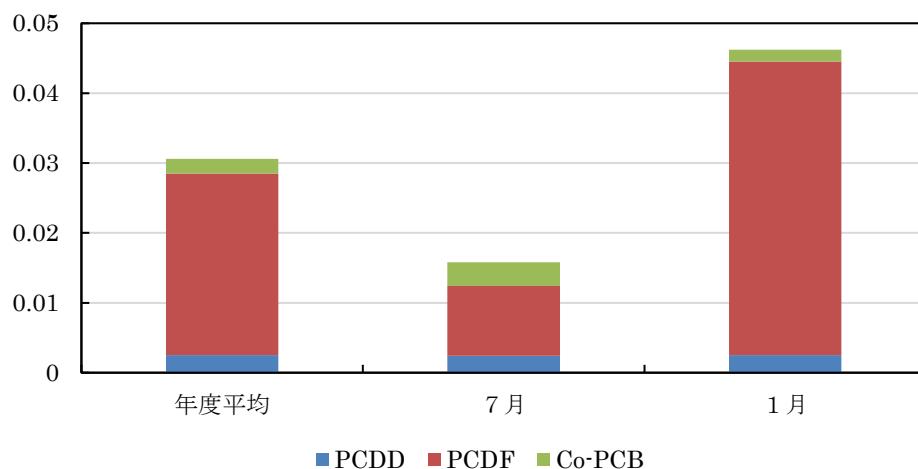
7. ダイオキシン類

平成 12 年から調査を開始し、環境基準値(年平均値 0.6pg-TEQ/m³)を達成している。

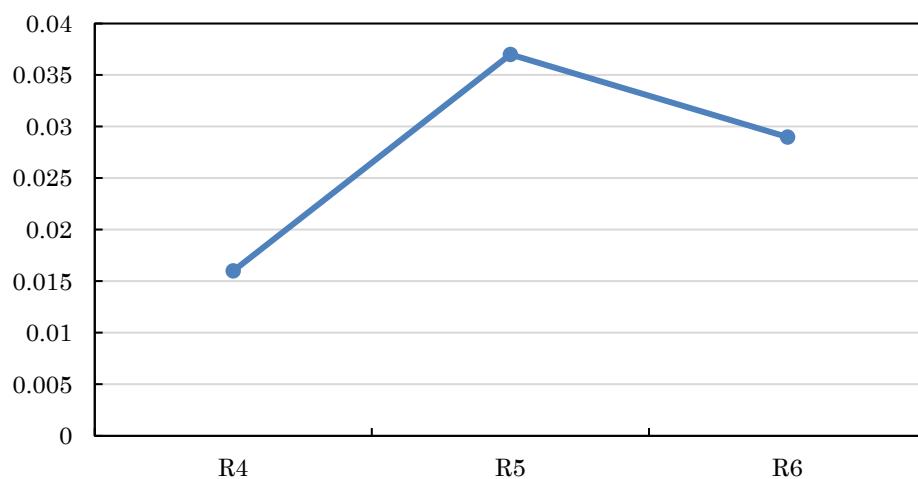
年間測定結果

	測定月	ダイオキシン類				環境基準 の適否
		PCDD	PCDF	Co-PCB	合計	
		(pg-TEQ/m ³)	(pg-TEQ/m ³)	(pg-TEQ/m ³)	(pg-TEQ/m ³)	
大府市役所	年度平均	0.0025	0.012	0.0021	0.029	○
	7月	0.0024	0.0077	0.0034	0.014	△
	1月	0.0025	0.016	0.0017	0.043	△

(pg-TEQ/m³) ダイオキシン類



(pg-TEQ/m³) ダイオキシン類合計値の年度平均推移



ダイオキシンの構成

種類	異性体	毒性等価係数		
			夏 [7月]	冬 [1月]
		TEF	pg-TEQ/m ³	pg-TEQ/m ³
P	2, 3, 7, 8-TeCDD	1	0.0005	0.001
	1, 2, 3, 7, 8-PeCDD	1	0.001	0.01
	1, 2, 3, 4, 7, 8-HxCDD	0.1	0.0001	0.0017
	1, 2, 3, 6, 7, 8-HxCDD	0.1	0.0002	0.0027
	1, 2, 3, 7, 8, 9-HxCDD	0.1	0.0003	0.0028
	1, 2, 3, 4, 6, 7, 8-HpCDD	0.01	0.00024	0.0051
	1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, 9-OCDD	0.0003	0.000048	0.00213
Total PCDDs		—	0.0024	0.025
PCDFs	2, 3, 7, 8-TeCDF	0.1	0.0010	0.0013
	1, 2, 3, 7, 8-PeCDF	0.03	0.000282	0.00042
	2, 3, 4, 7, 8-PeCDF	0.3	0.0027	0.0057
	1, 2, 3, 4, 7, 8-HxCDF	0.1	0.0009	0.0022
	1, 2, 3, 6, 7, 8-HxCDF	0.1	0.0010	0.0024
	1, 2, 3, 7, 8, 9-HxCDF	0.1	0.00025	0.0004
	2, 3, 4, 6, 7, 8-HxCDF	0.1	0.0009	0.0021
	1, 2, 3, 4, 6, 7, 8-HpCDF	0.01	0.00052	0.0011
	1, 2, 3, 4, 7, 8, 9-HpCDF	0.01	0.00006	0.00017
	1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, 9-OCDF	0.0003	0.000084	0.00039
Total PCDFs		—	0.0077	0.016
Total (PCDDs+PCDFs)		—	0.010	0.042
Co-PCBs	3, 3', 4, 4'-TeCB (#77)	0.0001	0.000033	0.0000059
	3, 4, 4', 5-TeCB (#81)	0.0003	0.0000087	0.0000039
	3, 3', 4, 4', 5-PeCB (#126)	0.1	0.0031	0.0016
	3, 3', 4, 4', 5, 5'-HeCB (#169)	0.03	0.00021	0.00003
	2, 3, 3', 4, 4'-PeCB (#105)	0.00003	0.0000204	0.0000039
	2, 3, 4, 4', 5-PeCB (#114)	0.00003	0.00000198	0.00000054
	2, 3', 4, 4', 5-PeCB (#118)	0.00003	0.000054	0.0000096
	2', 3, 4, 4', 5-PeCB (#123)	0.00003	0.00000120	0.00000033
	2, 3, 3', 4, 4', 5-HxCB (#156)	0.00003	0.0000033	0.00000126
	2, 3, 3', 4, 4', 5'-HxCB (#157)	0.00003	0.00000078	0.00000042
	2, 3', 4, 4', 5, 5'-HxCB (#167)	0.00003	0.00000141	0.00000051
	2, 3, 3', 4, 4', 5, 5'-HpCB (#189)	0.00003	0.00000030	0.00000024
Total Co-PCBs		—	0.0034	0.0017
Total ダイオキシン類		—	0.014	0.043

8. 降下ばいじん

平成 21 年度から概ね横ばいで推移している。令和4年度から、大府市役所での計測を取りやめた。年度平均値は、調査地点の年間値の平均であり、月間値の平均とは異なる。

年間測定結果 (t/km²)

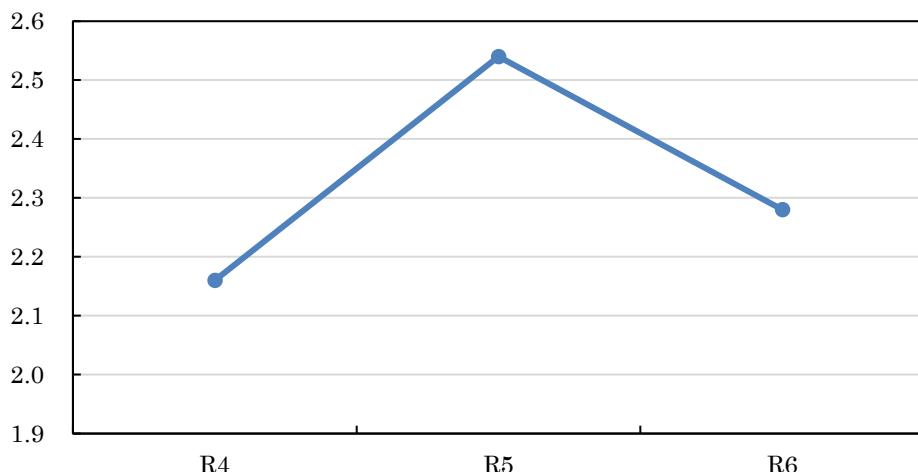
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
吉田小学校	3.34	2.21	3.21	2.68	1.48	3.10	1.84	1.35	2.25	1.84	1.77	2.31	2.28

年度平均値の経年変化 (t/km²)

	R4	R5	R6
吉田小学校	2.16	2.54	2.28

(t/km²)

年度平均値の経年変化



降下ばいじん分析結果

測定地点 吉田小学校

月	降下 ばいじん量 (a=b+c) (t/km ² ・月)	不溶解性成分(b)			溶解性成分 (c) (t/km ² ・月)	構成比		イオン		貯水量 (mL)	pH
		灰分 (t/km ² ・月)	灼熱減 (t/km ² ・月)	計 (t/km ² ・月)		(b) (%)	(c) (%)	SO ₄ ²⁻ (t/km ² ・月)	Cl ⁻ (t/km ² ・月)		
4	3.34	1.02	1.37	2.39	0.95	71.6	28.4	0.04	0.16	7,600	5.4
5	2.21	0.43	0.55	0.98	1.23	44.3	55.7	0.14	0.28	6,000	6.1
6	3.21	0.60	0.64	1.24	1.97	38.6	61.4	0.12	0.31	15110	6.6
7	2.68	0.39	0.62	1.01	1.67	37.7	62.3	0.12	0.14	10660	5.7
8	1.48	0.57	0.28	0.85	0.63	57.4	42.6	0.04	0.07	1,700	6.3
9	3.10	0.46	1.19	1.65	1.45	53.2	46.8	0.12	0.37	15,560	6.2
10	1.84	0.44	0.35	0.79	1.05	42.9	57.1	0.16	0.23	7,920	5.9
11	1.35	0.43	0.29	0.72	0.63	53.3	46.7	0.09	0.10	4,260	6.2
12	2.25	0.66	0.42	1.08	1.17	48.0	52.0	0.10	0.19	2,020	6.6
1	1.84	0.81	0.40	1.21	0.63	65.8	34.2	0.09	0.09	440	6.9
2	1.77	0.75	0.53	1.28	0.49	72.3	27.7	0.09	0.09	260	6.5
3	2.31	0.74	0.50	1.24	1.07	53.7	46.3	0.18	0.20	2,840	6.3
平均値	2.28	0.61	0.60	1.20	1.08	53.2	46.8	0.11	0.19	6,198	6.2

9. 微小粒子状物質(PM2.5)

大府市内では、愛知県が平成 25 年 12 月 25 日から大府小学校において測定を開始している。

有効測定日数を満たしている平成 26 年度以降の環境基準の適否については、短期基準は令和 6 年度に有効測定日 361 日の内 1 日、基準超過が見られた。長期基準は平成 26 年度以降達成している。

年間測定結果

等 価 性 の 有 無	有 効 測 定 日 数	長期評価							
		短期基準				長期基準			
		そ の 割 合	超 え た 日 数	35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	1 日 平 均 値	年 間 98 %	1 日 平 均 値 の 値	環 境 基 準 の 適 否	年 度 平 均 値
有○ 無×	(日)	(日)	(%)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	適○ 否×	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	適○ 否×		
大府小学校	○	361	1	0.3	24.6	×	8.7	○	

経年変化

測 定 年 度	等 価 性 の 有 無	長期評価							
		短期基準				長期基準			
		そ の 割 合	超 え た 日 数	35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	1 日 平 均 値	年 間 98 %	1 日 平 均 値 の 値	環 境 基 準 の 適 否	年 度 平 均 値
大府小学校	有○ 無×	(日)	(日)	(%)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	適○ 否×	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	適○ 否×	
R4	○	360	0	0.0	19.3	○	8.2	○	
R5	○	363	0	0.0	20.0	○	7.7	○	
R6	○	361	1	0.3	24.6	×	8.7	○	

※環境基準の適否は、標準測定法との等価性を有する自動測定機で測定され、かつ、有効測定日数が 250 日

以上の数値が必要である。

※有効測定日数: 1 日平均値に係る欠測が 1 日 (24 時間) のうち 4 時間を超えない日数である。年間の有効日数が

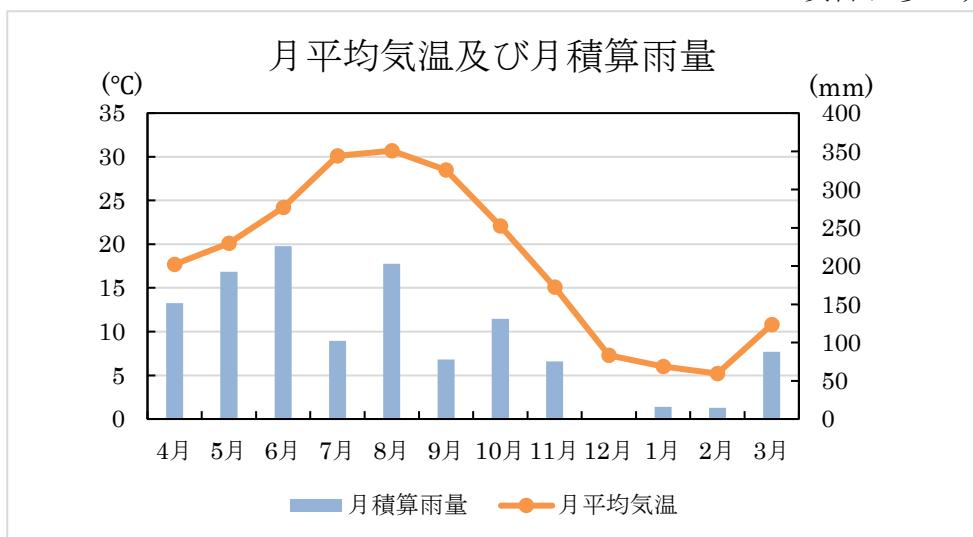
250 日未満の場合は、参考値として扱い、環境基準等の評価対象としない。

10. 気象データ

月別の気象データ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
風向	北西	北西	南南東	北西	南南東	南東	北北西	北西	北西	北西	北西	北西
平均風速[m/s]	2.2	2.6	1.9	1.9	2.0	1.6	1.6	2.1	2.2	2.4	2.9	2.7
平均気温[°C]	17.7	20.1	24.2	30.1	30.7	28.5	22.1	15.1	7.3	6.0	5.2	10.8
平均湿度[%]	50.9	50.9	56.9	71.4	78.0	76.9	69.8	57.9	65.9	59.4	53.2	55.9
積算雨量[mm]	151.5	192.5	226.0	102.0	203.0	78.0	131.0	75.5	0	16.0	14.5	88.0

資料:知多広域気象システム(大府市消防本部)



【参考】
 最高気温:39.6°C
 (8月9日)
 最低気温:-2.8°C
 (2月23日)
 最大降水量(日積算):78.5 mm
 (6月18日)

